

社会

世界史

番号	講座名	日程	講座案内
35	世界史AS①	調整中	<p>1. 授業の進め方</p> <p>世界史確認プリントを軸にして、テキストをまとめ教材として進める。プリントに簡潔に記載してある内容を、自分の言葉でいかにふくらし立体的に組み立てるかがポイントとなる。毎回習熟確認テストを行う。予め配布しておくので自分で解答を調べておくこと。</p> <p>2. 学習範囲</p> <p>ヨーロッパ史が中心となる。市民革命前まで扱う。イスラム史はタイムール、ムガール、オスマン等170まで。</p> <p>中国史は明・清を主とする。中国史全時代の文化史・法制史の知識を有機的に捉える訓練を行う。</p> <p>世界史が「わかる」という感覚に届くことは誰であっても難しい。但し授業の内容に地道についてきてくれれば試験で十分の成果を出すことはできる。自分を信じ授業を信じ、こつこつと覚えるべきことを覚え考えるべきことを考えていこう。</p>
36	世界史AS②		
37	世界史AS③		
38	世界史AS④		
39	世界史AS⑤		
40	世界史AS⑥		
41	世界史AS⑦		
42	世界史AS⑧		

日本史

番号	講座名	日程	講座案内
43	日本史AS① (講義)	7/11～13⑤	江戸時代末期の「ペリー来航」までをしっかりと解説します。
44	日本史AS② (講義)	7/11～13⑥	
45	日本史AS③ (講義)	7/15～17⑤	
46	日本史AS④ (講義)	7/15～17⑥	
47	日本史AS⑤ (講義)	7/29～31⑤	飛鳥→白鳳→天平→弘仁貞観期→国風→院政期→鎌倉→室町文化 文化史の前半を「仏教」を中心に丁寧に解説します。
48	日本史AS⑥ (文化史講義)	7/29～31⑥	
49	日本史AS⑦ (文化史講義)	8/5～7⑤	結局、日本史は暗記した知識を使いこなせないと得点にはつながりません。 ですから「問題演習」、それも大学入試の過去問を数多く解くことが必要となります。そこで少し早いのですが、この講座で実際の大学入試問題を体験してください。
50	日本史AS⑧ (古代・問題演習)	8/5～7⑥	
51	日本史AS⑨ (中世・問題演習)	8/19～21⑤	
52	日本史AS⑩ (文化史・問題演習)	8/19～21⑥	